

令和4年1月 斐伊川水系水質情報

令和4年1月(宍道湖19日・中海21日採水)					単位:mg/l(Chl-a: µg/l)					
項目	層	S-3(宍道湖湖心)			N-6(中海湖心)			米子湾中央部		
COD	全層	4.4	△	平年並み	2.8	○	良好	3.2	△	やや低い
全窒素	上層	0.39	○	良好(平年並み)	0.31	○	良好	0.38	○	良好(平年並み)
全リン	上層	0.040	△	平年並み	0.029	○	良好(平年並み)	0.029	○	良好(平年並み)
Chl-a	上層	36	△	平年並み	12	△	平年並み	12	△	平年並み
塩化物イオン	上層	3,220	△	平年並み	12,300	×	やや高い	9,350	△	平年並み
	下層	3,460	△	平年並み	14,700	△	平年並み	10,800	△	平年並み
溶存酸素	上層	13.0		やや高い	11.1		平年並み	12.2		平年並み
	下層	12.6		やや高い	8.0		やや高い	11.6		やや高い

前月との比較		宍道湖湖心		中海湖心		米子湾中央部	
項目	層	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して
COD	全層	3.9	やや上昇	3.3	やや下降	3.9	やや下降
全窒素	上層	0.47	やや下降	0.37	やや下降	0.42	横ばい
全リン	上層	0.053	横ばい	0.038	やや下降	0.053	やや下降

宍道湖の透明度は1.7mから1.0mと下降し、やや悪い。中海の透明度は2.2mから2.4mと横ばい。米子湾の透明度は先月と同様に2.0mと、横ばいになっている。

【評価基準】

前年まで過去10年間(平成19年までは5年間とした)のデータについて統計処理を行い、それに基づき下記の表現とする。

1. 水質値について

平均値+標準偏差値の3倍	★	<非常に高い>
平均値+標準偏差値の2倍	☆	<かなり高い>
平均値+標準偏差値	×	<やや高い>
10年間平均値	△	<平年並み>
平均値-標準偏差値		ただし、環境基準値以下の場合<良好>とする。
平均値-標準偏差値の2倍	○	<良好> ただし、環境基準値を下回らない場合は△で<やや低い>とする。
平均値-標準偏差値の3倍	◎	<かなり良好> <かなり低い> (塩化物イオン)

2. 水質変化について

前月値±標準偏差値以上、以下の変化…… 上昇、下降

前月値±標準偏差値の1/2以上、以下の変化…やや上昇、やや下降、横ばい

前月値±標準偏差値の1/2以内の変化…横ばい

注) 平均値±標準偏差値 ……全体のおよそ 68.2%

平均値±標準偏差値の2倍…全体のおよそ 95.5%

平均値±標準偏差値の3倍…全体のおよそ 99.7%